

第4回 竜野川流域水害対策協議会 議事概要

日 時 令和8年10月2日（金）10時00分～11時15分

場 所 ホテル熊本テルサ

出席者 甲斐 高士（甲佐町長）

大本 照憲（熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 名誉教授）

田中 尚人（熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授）

岩永 知春（甲佐町上早川2区 区長）

鳥井 譲太（国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所 技術副所長）

福田 恭久（熊本県土木部 河川課長）

有働 人志（熊本県県央広域本部 土木部長）

針尾 英克（熊本県県央広域本部上益城地域振興局 土木部長）

《概 要》

■ 竜野川流域水害対策計画（素案）に寄せられたご意見及び県と甲佐町の考え方

- ・ 事務局より【資料1】の内容について説明。

■ 竜野川流域水害対策計画（案）について

- ・ 事務局より【資料2，3】の内容について説明。
- ・ 異議なしのため、竜野川流域水害対策計画（案）は承認。

■ 今後のスケジュール（案）について

- ・ 事務局より【資料4】の内容について説明。

<主な意見等>

- 防災偏重でなく、総合的な視点で取り組んでもらいたい。
- 都市部とは異なる町の地形・土地利用を踏まえ、土砂・流木を伴う外水氾濫や超過洪水にも備える必要がある。
- 竜野川は粗度や勾配の視点から整備次第では流下能力を大きくできる可能性がある。
- 灌漑用水路である大井手川の歴史的遺構を損なわない配慮が必要。
- 日常の視点、目に見える、実感してもらえる対策で、日常から防災意識をもってもらおう。特定都市河川で甲佐町が暮らしやすくなった、元気になったというPRができるようになればよい。
- ハード整備だけでなく、日頃から住民が「治水」を意識し、楽しみながら関われるような仕組み（グリーンインフラの活用など）が重要。若者など、住民の意見を積極的に取り入れながら事業を進めてほしい。
- 竜野川及びその流域内での対策のほかに、緑川本川の水位を下げるために、堆積した土砂の撤去が必要。

以上